

地域ICT社会実現に向けた戦略案(私案) ～ ICT戦略策定の論点 ～

2008年 12月 4日
財団法人 全国地域情報化推進協会
技術専門委員会 副委員長
(株)日立製作所 甲斐 隆嗣



地域ICT社会のビジョン



- ICTが隅々まで行き渡り、**全ての人**がICT利活用による恩恵を**各々の立場や境遇に関わらず**受けている状態
- 個人・企業のICTレテラシーが持続的に高くなることで、**個人・企業が**高付加価値を創造し、**自立している**状態
- 熟成された**地域ICT利活用ケース**が、**広く国内・海外へ**発信され、**国内・海外で**継続的に使われている状態

2. サービスと知の連鎖による価値の増大

地域ICT社会

個人・企業

個人・企業を
支える

高付加価値
サービスを提供

障害となる壁を
なくす

サービスポータル

サービス・知

民間サービス・知

公的サービス・知

3. 地域情報プラットフォームとは

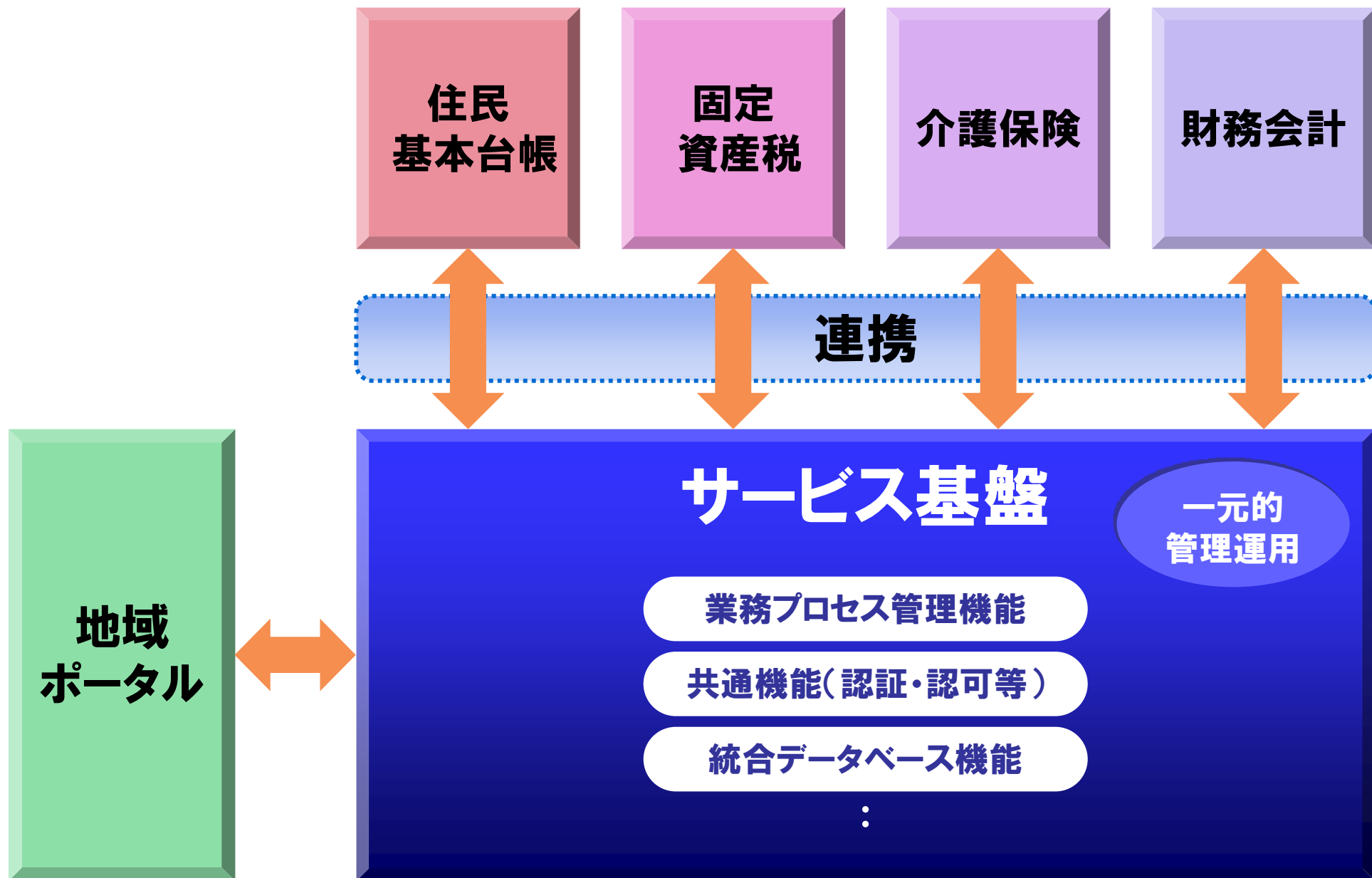
「地域情報プラットフォーム」は地域ICT社会を実現するための基盤



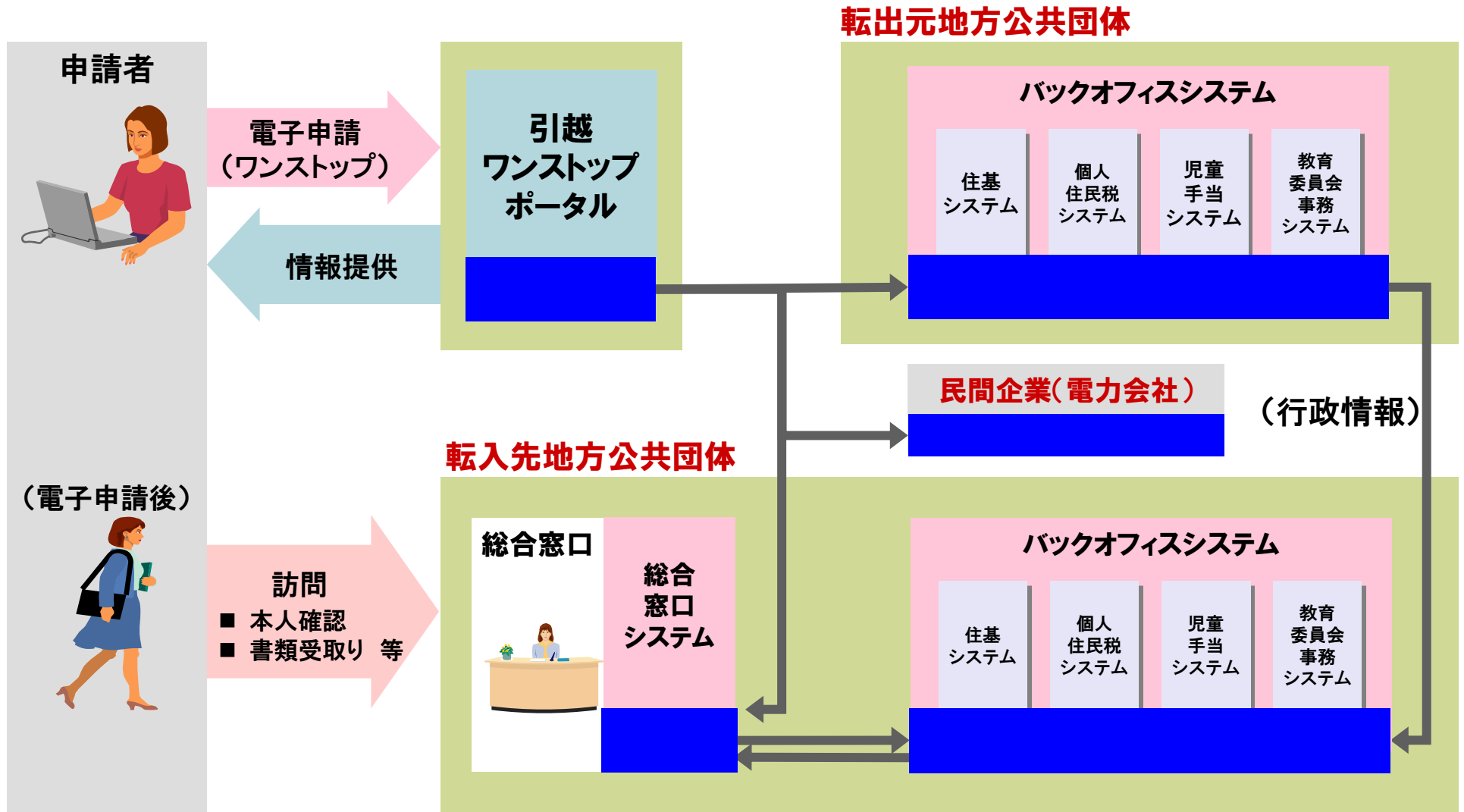
- システム間連携を可能にするために各システムがあらかじめ準拠すべき業務や技術の標準(ルール)を「地域情報プラットフォーム標準仕様」として策定。
- 「地域情報プラットフォーム標準仕様書 V2.1」を08年9月に策定・公表。

4. 地域情報プラットフォームの利用イメージ1

自治体内部業務

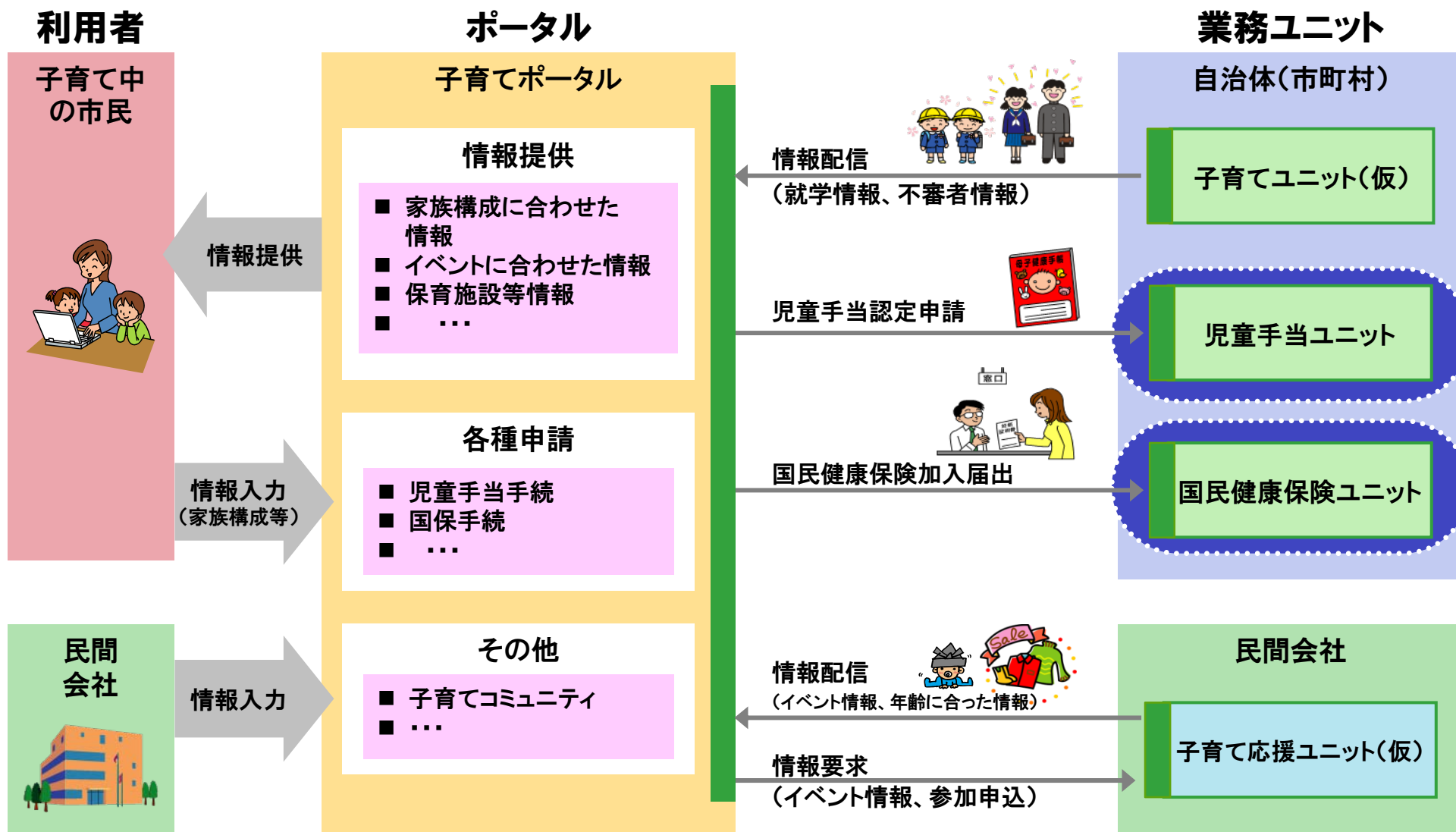


利用イメージ



■ : 地域情報プラットフォーム

4. 地域情報プラットフォームの利用イメージ3



地域情報PF
標準化済

地域情報プラットフォーム
標準インターフェース

地域情報PF準拠連携

5. 韓国事例の紹介(ご参考)

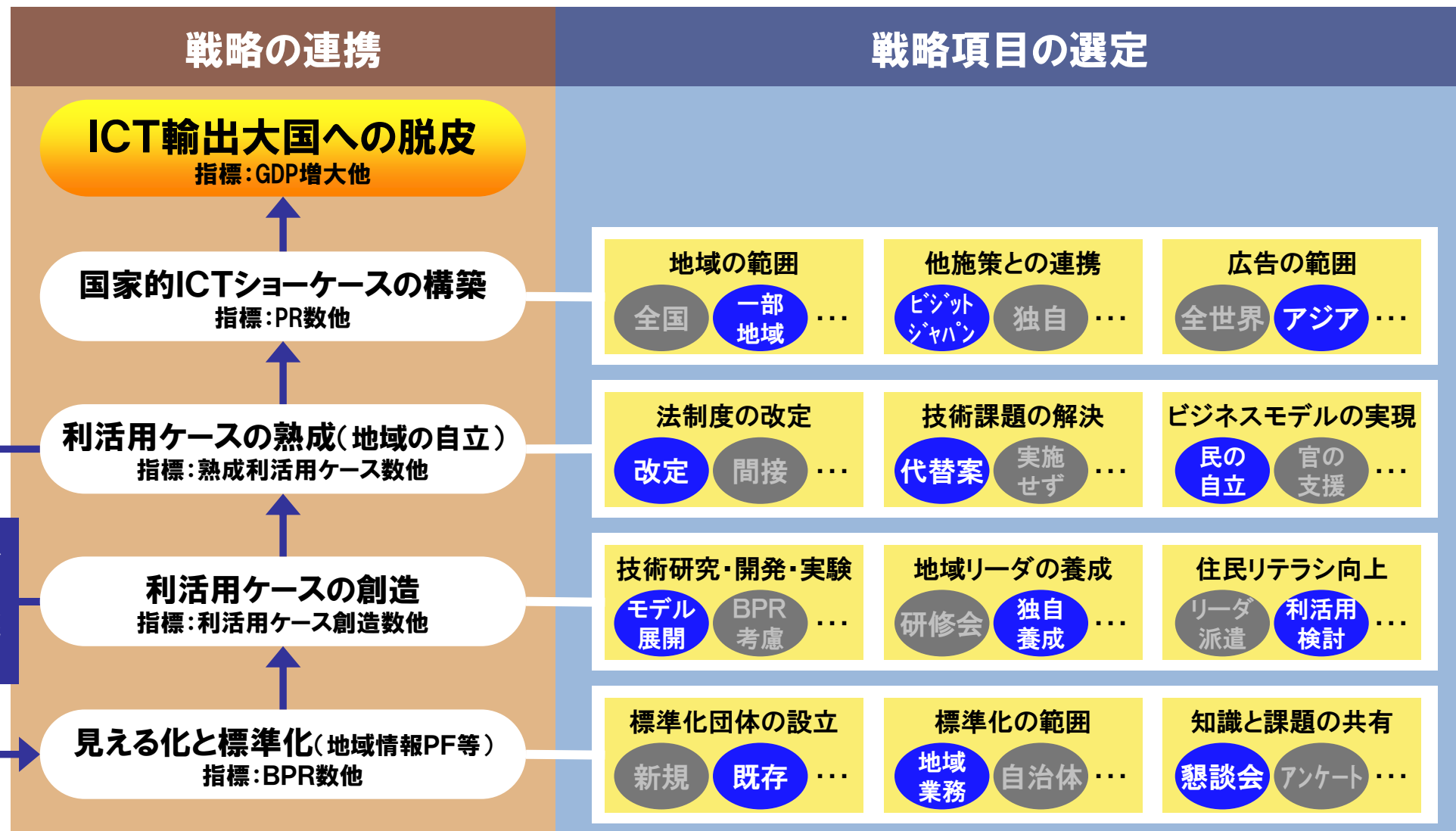
- 合理的な精神に基づいた戦略(官と民の協働)を策定
- 一つの事業の中にICT教育、事業創造、事業運営(地域の自立)まで実現



出展:韓国行政安全部情報化村運営事業団 資料

6. 地域ICT社会実現への戦略(例:私案)

地域ICT社会の実現には、地域の自立を可能とする利活用ケースの熟成が重要



(注) 戦略項目には複数オプションが有り、個別のケースに応じて、適切なオプションを選定することが望ましい。
例えば、複数のオプションの中で青部分を選ぶというイメージ。

7. 利活用ケースの熟成のための戦略項目(例:私案)

戦略項目	民間での施策	官・学での施策
法制度の改定	具体的な法令条文まで踏み込んだ条文案の提言・提案	提言・提案に対し、実現可否や実現に向けたロードマップを提示
技術課題の解決	解決可能な実現策や代替案の提示	提示された解決策や代替案への助言と協働
自立可能なビジネスモデルの実現	継続的な仕事の受注と実行	NPO等へのファイナンス保証等も含めた経営への助言や協働(第三者監査も必要か?)

8. ICT戦略策定上の論点

ビジョンを達成するために戦略間の整合性と一貫性を持たせることが重要ではないか？

前例主義でなく、合理的な考えの下、全体最適化を実現する戦略を策定する必要があるのではないか？

現状を見える化し、BPR・標準化を踏まえた利活用ケースの創造・熟成に力を注ぐ必要があるのではないか？

戦略の実効性を高めるために評価指標を明確にし、効果測定を継続的に評価する必要があるのではないか？

かつて実行した戦略に対し、やり方のまずさ等で成果を出せなかったものを掘り起こす必要は無いだろうか？